

2018年度 作業管理士制度 活動報告

◆◆◆◆◆ 作業管理士研修会 ◆◆◆◆◆

例年、作業管理士有資格者ならびに一般参加者を対象として、作業管理に関する基礎知識や最新の知見等を学ぶために開催している研修会です。今年度も、各領域の専門家により参加型の講義等も交えてご講演をいただき、盛況のうちに終了いたしました。



2018年度のプログラム			
8:30 から受付 (各会場共通)	大阪 会場 10月27日(土) 北区西天満 5-2-18 三共ビル東館 日本予防医学協会 西日本事業部	東京 会場 11月10日(土) 江東区毛利 1-19-10 江間忠錦系町ビ ル 日本予防医学協会 本部	福岡 会場 11月24日(土) 博多区博多駅前 3-19-5 博多石川ビル 日本予防医学協会 九州事業部
9:00~10:30 (講義 I 90分)	「健康経営と労働衛生管理」 三澤 哲夫 (千葉工業大学 創造工学部・デザイン科学科 教授)		
10:40~12:10 (演習 I 90分)	「腰痛と作業管理」 谷 直道 (一般財団法人日本予防医学協会)		
13:00~14:30 (演習 II 90分)	「職場体操の普及」(実技を含む) 山村 昌代 (大原記念労働科学研究所 協力研究員)		
14:40~16:10 (講義 II 90分)	「看護作業と人間工学」 斎藤 真 (公立大学法人 三重県立看護大学 教授)		
16:15~16:25 (10分)	「作業管理士活動報告」		

- 日程：2018年10月27日(土) 大阪、11月10日(土) 東京、11月24日(土) 福岡
- 参加者総数(3会場延べ数)：55名
- 参加者属性：作業管理士、産業医、保健師、衛生管理者、生産管理担当者、
社会保険労務士、研究職、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士など

◆◆◆◆◆ 作業管理実務研修（企業実習） ◆◆◆◆◆

年に1度、産業保健人間工学会が主催する改善の実務を学ぶための実習です。全国、津々浦々の企業様に会場を提供していただき実施しています。10年目の節目を迎えた今回の実習は、残念ながら台風の影響により、予定していた実習地での研修が困難となりました。

このため、代替え実習地（弊会、南森町診療所）での研修となりましたが、簡易型の騒音計、照度計、温度計を使った作業環境測定等を研修に組み入れ、日本工業規格に基づいた測定方法、計測機器の操作方法、そして許容基準についての実演も行われました。グループワークでは活発な意見交換が行われ、総合討議では「診療所全体の案内表示の配置」、「表示内容の正確さ」、「検査項目と提示している表示内容との関連」などについても改善の余地があるのではないかといった意見が出され充実した研修となりました。



●日 時：2018年10月12日(金)13:30～17:00

●場 所：一般財団法人日本予防医学協会附属診療所 ウェルビーイング南森町
大阪府大阪市北区西天満 5-2-18 三共ビル東館

●指導員（カナ順）

相羽 洋子先生（大阪青山大学 講師）

長谷川 徹也先生（近畿大学 名誉教授）

三澤 哲夫先生（千葉工業大学 教授）

●参加者総数：12名

◆◆◆◆◆ 作業管理実務講習 in 名古屋（企業実習＋講習） ◆◆◆◆◆

今年度は、産業保健人間工学会主催の企業実習に加えて、弊社主催で改善の実務を学ぶための企業実習を第四管区海上保安庁 中部空港海上保安航空基地様の全面協力を得て、充実した講師陣のもと名古屋にて開催いたしました。第四管区海上保安庁様は安全衛生の取り組みを推進すべく、リスク・バスターズ環境推進室を編成し、自主対応型（参加型）改善アプローチと労働安全衛生マネジメントシステムに基づく PDCA サイクルによる質の高い改善活動を実施されておられます。

今回は「安全対策」をキーワードに海上巡視船や航空基地内の職場巡視などを行いました。また、実際に取り組んでおられる安全対策・リスク改善活動についても現場のご担当者様はじめ保健師の方よりご説明いただくことができ参加者からも大変好評でした。

さらに翌日、別会場にて榎原先生と赤津先生からそれぞれ、「作業管理の国際動向」と「職場巡視に関する法規」についてご講義いただき密度の高い2日間となりました。



●日 時：2018年12月20日(木)・21日(金)

●改善実習地：第四管区海上保安庁 中部空港海上保安航空基地
愛知県常滑市セントレア 1-2

●指導員（カナ順）

赤津 順一先生（一般財団法人日本予防医学協会 理事・統括産業医）

榎原 毅先生（名古屋市立大学 医学研究科 環境労働衛生学分野 講師）

岸田 孝弥先生（高崎経済大学 名誉教授）

神代 雅晴先生（一般財団法人日本予防医学協会理事長・産業医科大学 名誉教授）

高野 賢一郎先生（関西労災病院 治療就労両立支援センター）

●参加者総数：23名